

廃棄物削減のための取り組み

TOHO シネマズでは、2025年7月に映画館で働くスタッフのユニフォームを刷新しました。それに伴い役目を終えた旧ユニフォーム(約8t)は、地球への資源へとリサイクルする循環型リサイクルのスキームを採用し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

また、2026年3月には、各劇場に配備していた防災用ヘルメットの更新に伴い、旧ヘルメットのリサイクルを実施いたしました。

その他、飲食物の販売においては、2021年より食品ロスの削減を活性化させ、メーカーとの調整による商品の賞味期限の見直し、食材の半調理・個包装化、発注量・仕込み量の精度向上など様々な取り組みを実施してきました。これらの取り組みが定着化し、活動開始前の2019年と現在を比較すると売上総重量に占める食品廃棄総重量は30%削減を達成しています。ただし、食品廃棄総重量はオペレーション変更などで変動していますので、変動幅を少しでも小さくできるように引き続き取り組みを強化してまいります。

TOHO シネマズでは今後も食品廃棄ロスの削減を推進してまいります。

■ TOHOシネマズでの廃棄物削減のための取り組み例

- 旧ユニフォームのリサイクル
- 防災用ヘルメットのリサイクル
- 飲食商品の賞味期限見直しや発注量の適正化